

読んで参画！  
福祉の  
総合情報誌

# ゆ〜とぴー

くまもとの「ふだんのくらしのしあわせ」を協働でつくります

## 特集 令和2年7月豪雨災害における福祉支援活動



p2~3

### 被災地災害ボランティアセンターの活動紹介

- 八代市災害ボランティアセンター
- 人吉市災害ボランティアセンター

p8

### 被災事業所職員の再就職支援

- 熊本県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター

p4

### ボランティア団体ネットワークの動き

- NPO 法人 くまもと災害ボランティア団体ネットワーク (KVOAD)

p9

### 生活福祉資金特例貸付

- 熊本県社会福祉協議会 福祉資金課

p5

### 地域支え合いセンターの支援活動

- 芦北町地域支え合いセンター
- 球磨村地域支え合いセンター

p10

### 寄附御礼

p6~7

### 各種協議会の取り組み

- 熊本県老人福祉施設協議会
- 熊本県社会福祉法人経営者協議会
- 熊本県知的障がい者施設協会
- 熊本県保育協議会
- 熊本県身体障害児者施設協議会

p12

### 県社協の事業案内



この情報誌は赤い羽根  
共同募金の配分を受け  
て発行しています。  
また、リサイクルの主  
旨を尊重して再生紙を  
使用しています。

# 令和2年7月豪雨災害 における福祉支援活動

昨年7月に、記録的な長雨が全国各地にさまざまな影響を与えた「令和2年7月豪雨」。熊本県では、死者65人・行方不明者2人（2020年12月3日現在）と、甚大な被害が発生しました。特に4日未明からの大雨は、県南地域を中心に大規模な洪水・土砂災害をもたらしました。熊本地震からわずか4年余りで再び起きた未曾有の自然災害。発災直後からの主な福祉支援活動を紹介すると共に、今後の課題などを探ります。

## 被災地災害ボランティアセンターの活動紹介①

### 想定外の被害で、ボラセンの設置、 現地へのアクセスなどに多大な影響

八代市では、氾濫した球磨川流域に位置する坂本町での被害が甚大で、死者・行方不明者5人、400軒以上が全半壊しました。さらに、道路の寸断などでボランティアセンターの設置場所などにも手間取りました。



八代市災害ボランティアセンター長 松本博昭さん

## 八代市災害ボランティアセンター

八代市では、7月7日に災害ボランティアセンターを開設し、同月15日からボランティアによる支援活動を開始しました。本来、坂本町内に設置候補地がありましたが、同町内へ向かう道路が各所で寸断され、橋の流失もあつたため、町外の別の場所に応急のプレハブを設置。約40人態勢でスタートさせました。

今回の豪雨災害では、現地へのアクセスが悪かった事と、現地での駐車場確保が難しかったことから、多くのボランティア希望者が来ても、マイクروبスなどで一度に現地に運ぶことができず、ワゴン車や軽トラックなど30台近くに分乗してもらう事態となり、車や運転手の確保に大変苦労しました。また、ボランティアセンターのスタッフも、なかなか被災地域の隅々まで行けず、被害状況や被災者のニーズ把握にも時間を要しました。

### 本格化する公費解体 プッシュ型で支援を効率化

支援ニーズで最も多かったのは、住宅に流入した土砂の撤去。ただ、中にはボランティアを入れるには危険なところもあり、そうした場所は専門知識を持つNPO法人などに撤去を依頼しました。

地域ニーズの把握では、地元の状況

を良く知る自治会長さんが集めた情報を活用。現地に着いてから作業の場所や内容を（自治会長に）指示してもらった。昨年9月下旬以降、ボランティア受け入れが週末限定になり、復興ボランティアセンター（坂本地区福祉センター内）に移行。八代市社会福祉協議会が中核となり、住民自治協議会や各種支援団体との調整を行うことで、ニーズの把握と支援の提供がよりスムーズになりました。

12月以降は被災住宅の公費解体が本格化。それに伴う家財の運び出しなど、まだまだボランティアに対するニーズは残っています。今後は、支援の要請を待つのではなく、こちらから働き掛けるプッシュ型支援で、より効率的な活動を展開していきたいと考えています。



▲坂本町へ向かう幹線道路の寸断により現地へのアクセスが限定され、移動手段もワゴン車や軽トラックのみに

## 被災地災害ボランティアセンターの活動紹介②

## コロナ禍で運営や人の移動に制限 地元ボランティア団体が大きな力に

人吉市では、球磨川とその支流が氾濫し、市街地の広範囲で浸水や橋梁・道路の破壊・流失が発生。昨年12月現在で、重・軽傷者13名、死者20名に及んでいます。罹災世帯数も2959世帯に上り、まだまだボランティアの手が必要です。



人吉市災害ボランティアセンター  
センター長 松岡誠也さん

# 人吉市災害ボランティアセンター

7月10日に人吉市災害ボランティアセンターを開設し、1日20〜40人態勢で運営に当たりました。当初は球磨村との合同センターとして設置し、7・8月は毎日活動していました。コロナ禍での3密を避けるため、サテライトのボラセン設置のほか、オリエンテーション会場やマッチング会場も複数設置。熊本市内から運行したボランティアバス車内でのマッチングなども行いました。

今回の豪雨災害では、市内の医療機関の多くも浸水被害を受けて医療体制がぜい弱になっていたため、新型コロナウイルスウィルス感染拡大防止の観点からボランティアの受け入れを県内に限定。そのため、十分な数を確保できるかどうかという危機感がありました。一方で、発災当初はボランティアを必要とする方が殺到。12月現在も約100件の依頼が実施できないままになっています。

### ボランティアの需要を掘り起こし 最後まで被災者を支援

また、ボラセンの運営自体にも県外の災害ボランティア団体からの支援が受けられず、人吉市社会福祉協議会と地域から派遣された関係者で対応しました。その際、東日本大震災を機に誕生した地元の災害救援ボランティアグループ「やませみ」の協力が大きな力とな

りました。

昨年11月からはボランティアの受け入れを九州圏内に拡大。トヨタ・デンソーグループの支援を受け、被災地でローラー調査を始めました。加えて、JVOAD・KVODを通じ、災害NGO「結」やピースポルト災害支援センターにボラセンの運営支援を受け、場所を西間下町に移して土・日曜に活動を続けています。

令和2年7月豪雨では、昭和40年以来55年ぶりに人吉で大きな被害が起こり、日頃からの備えや「やませみ」のような地域ボランティア団体を組織しておく必要性を強く感じました。今後は被災住宅の公費解体も進むので、協力団体と連携しながら最後まで被災者のニーズに応えていきたいと思っています。



▲昨年11月末までに延べ18,007人のボランティアが参加し、622件が完了。現在も土・日曜に活動中

## 自動車共済MAP

(任意保険)

## 福祉にかかわる皆様だけのお得な割引制度

### 共済制度のメリット

- 非営利の共済制度
- 節約型のお得な掛金
- 早くて親切な事故対応
- 他保険会社等からの切替でも安心
  - ノンフリート等級(無事故割引等)、フリート優良割引などはそのまま引き継ぎます。

### ①福祉車両割引 3%

- 消費税非課税措置の対象となる福祉車両の契約の場合。

### ③福祉施設割引 10%

- 社会福祉施設が所有・使用する自動車の契約の場合。

### ②障害者割引 10%

- ご本人(記名被共済者)、配偶者、同居のご親族のどなたかが障がい者の認定を受けているご家庭の契約の場合。

### ④福祉施設職員割引 5%

- 社会福祉施設に勤務する役員・従業員の契約の場合。



安心、信頼、ゆたかな未来へ。

**くもとも共済**  
熊本県火災共済協同組合

本部

熊本市中央区安政町3-13(熊本県商工会館5F)  
TEL:096-325-3411

お問合せ、お申込みは…

(社福) 熊本県社会福祉協議会  
TEL:096-324-5454

# ボランティア団体ネットワークの動き

コロナ禍で発生した今回の豪雨災害では、個人のボランティアだけでなく支援団体の受け入れも、一部を除き「県内」に限られました。そうした中で、現地ニーズとボランティア団体のマッチングなど、中間支援の果たす役割はこれまで以上に重要でした。その役割を担った、くまもと災害ボランティア団体ネットワーク (KVOAD) の動きを紹介します。

## コロナ禍での支援活動で見えてきた 新たなボランティアのあり方を今後に生かす



特定非営利活動法人  
くまもと災害ボランティア団体  
ネットワーク (KVOAD)  
代表理事 樋口 務さん

支援団体の活動調整を行ってきました。また、物的支援については「火の国会議」を通じて全国に呼び掛け、その場で「現地で不足しているもの」と、「それを提供できる支援団体」を調整することができ、スムーズな支援につながりました。

### 的確かつ正確な情報発信が 円滑な支援活動につながる

今回の豪雨災害では、コロナ禍とい

う特殊な状況下で、ボランティアのあり方にも変化が見られました。第一に、県外ボランティアの受け入れ制限です。今回は感染症拡大防止の観点からの制限でしたが、今後予想される南海トラフ地震などの大規模災害の際には、道路の寸断などで県域をまたいだボランティアの移動が難しい場合も想定されます。そうした時に備え、県内や隣県、ブロック（九州）での支援団体の連携をさらに強化する必要性を感じました。

もう一つは、有償ボランティアの実施です。これは、コロナ禍でアルバイトができなくなった学生や仕事をなくした方などを対象に、現地でのボランティア活動



▲発災直後から約1カ月は、毎日開催された「火の国会議」。この場での情報共有が、課題の洗い出しや支援ニーズの把握をよりスムーズに

に対して担当を支払うもの。今後もボランティアの人員不足を補う際の一つの手段として有効だと考えます。

その一方で課題となったのは、的確な情報発信の難しさです。SNSは情報拡散力があり、災害の際に有効な発信手段となる反面、断片的な情報が多く発信元も多数のため、中には不確かな情報も含まれます。「早く正確な情報をどこが発信するか」は、スムーズな支援を行う上でも重要です。

被災地域では、まだまだ支援が必要ですが、発災からこれまでの活動を通じて、改めて支援の大切さと同時に、難しさを痛感した今回の豪雨災害でした。

くまもと災害ボランティア団体ネットワーク（以下、KVOAD）は、熊本地震を機に、災害発生時の支援活動のコーディネート、平時からの支援団体のネットワーク化や情報共有などを目的に、2016年10月に設立されました。

「令和2年7月豪雨」では、発災直後からの3日間でスタッフが現地を視察し、現状把握を行いました。7月7日には、KVOADが主催する支援団体や地域団体、行政担当者などの情報共有の場である「火の国会議」を開催。県内約20団体に加え、オンラインで全国の支援団体にも参加してもらい、リアルタイムで現地の状況を共有し、必要な支援（物資、ノウハウ等）を発信しました。

KVOADでは、（発災直後から）これまでに100団体以上の県内外の

## 地域支え合いセンターの支援活動

今回の県南の豪雨災害では多くの方々が浸水被害に遭い、仮設団地やみなし仮設などでの生活を余儀なくされています。そうした皆さんの見守りや生活再建支援を行うのが「地域支え合いセンター」。芦北町、球磨村、2つの支え合いセンターの取り組みを紹介します。

### 芦北町地域支え合いセンター



芦北町社会福祉協議会事業課長  
主任生活支援相談員  
木川 誠さん



▲ボランティア団体などによる仮設団地での炊き出しや衣類提供などの日程調整も、センターで行っています

### みなし仮設や在宅の方にもまで 仮設団地同様の手厚い支援を

芦北町では、広範囲で浸水・土砂災害が発生。死者は11名に上り、現在も一人が行方不明です。家屋等の被害は、全壊72件、大規模半壊と半壊合わせて907件を超え、発災当初は国道3号線なども通れませんでした。

昨年10月1日に「芦北町地域支え合いセンター」を開設。現在は、センター長以下18名のスタッフで運営しています。生活支援相談員と補助員が、仮設団地やみなし仮設、在宅避難された方を順に訪問して、11月に仮設団地の訪問を終え、12月からはみなし仮設を訪ねています。町内に賃貸物件が少ないため町外に出て生活する人もおられ、「知り合いがいない」「広報誌が届かない」など、仮設団地との支援の差を訴える声が上がっています。

そうした方々には、まずは町の広報誌やセンターのチラシを届けると共に、訪問活動で得られた情報を関係機関と共有し、町外でも安心して暮らしてもらえるよう取り組みます。

### 球磨村地域支え合いセンター



球磨村社会福祉協議会  
福祉活動専門員・生活支援コーディネーター  
主任生活支援相談員  
梶木正剛さん



▲700軒以上の被災者宅を訪問し、情報の伝達や見守り対象者の状況把握に取り組んでいます

### まずは一軒一軒の状況を把握し スタッフの心のケアにも努めたい

球磨村では球磨川や支流流域で浸水被害が発生し、特別養護老人ホーム「千寿園」の入居者など25名が死亡。特に神瀬地区、渡地区などで被害が大きく、家屋等の被害は全壊339件、大規模半壊・半壊合わせて91件に上ります。道路や水道など、インフラの多くが止まり、現在も一部で復旧作業が続いています。

「球磨村地域支え合いセンター」は昨年10月22日に開設し、20名のスタッフで運営しています。支援団体の仮設団地での活動をサポートすると共に、村内のさくらドーム、多目的広場、グラウンドの各仮設団地、錦町の大王公園仮設団地の入居者の訪問を行っています。

みなし仮設への訪問では、転居先が広範囲だったり、住所が分からなかったりと、面会するのにも苦労します。現在は、会えなかった世帯への再訪問や、見守りが必要な方を専門機関につなげることも取り組んでいます。加えて、被災者でもあるスタッフたちのメンタルケアに努めたいと考えています。

# 各種協議会の取り組み

令和2年7月豪雨に際しては、特に県南地域を中心に多くの福祉施設も人的・物的被害を受けました。それに対し、県内の各福祉施設が加盟する5つの協議会（熊本県老人福祉施設協議会、熊本県保育協議会、熊本県社会福祉法人経営者協議会、熊本県身体障害児者施設協議会、熊本県知的障がい者施設協会）でも、さまざま支援活動を展開。それぞれの取り組みや今後の課題などを紹介します。

## 被災者受け入れに多くの施設が協力 効率的な支援に他機関との連携が必要

### 熊本県老人福祉施設協議会



熊本県老人福祉施設協議会  
会長 跡部尚子さん

7月の豪雨被害では、4日未明から情報収集に努め、熊本地震後に作成した県老協の連絡網を使って各施設に確認を試みたものの、携帯電話がつかない状況でした。6日ようやく被害の全容が分かり始め、球磨村の「千寿園」や芦北町の「五松園」の被災状況を確認しました。その後、物資の集荷拠点を宇城市の「しらぬい荘」に決定し、支援を開始しました。

今回の豪雨災害では、発災直後から会員施設等において被災した「千寿園」や「五松園」の入居者受け入れを行ったほか、全国老協DWAAT（災害派遣福祉チーム）での初動が早かったことなど、4年前の熊本地震の経験を生かした部分が多々ありました。現地の状況や要望に素早く対応できた反面、コロナ禍の影響で物資や人の移動に時間や労力がかかり、県や他の機関との協力がとりづらかったことが課題だと感じています。

本会は、会員相互の連携体制ができていると自負しています。災害の際は、初動や支援プロセスを間違わないようにし、他の機関とも連携を深めていきたいと思っています。

## 全国の保育士会からの募金で叶った 園だけでなく保育士個人への支援対応

### 熊本県保育協議会



熊本県保育協議会  
会長 本藤 潔さん

県南豪雨では、本会会員の八代市、人吉市、天草市、球磨郡、葦北郡の9園が床上浸水したほか、家が流されたり、道路が寸断されるなどして園に来られない職員が多数いました。本会では、7月8日以降度々現地におもむき、（協議会からの）義援金や県内外からいただいた支援物資を、被災した園へ直接届け続けました。ニーズを汲み、会員からボランティアを募り、人吉・芦北地区で復旧作業を実施。汗だくで参加した保育士らが「熊本地震の時にお世話になったから」と口々に話してくれたのが印象的でした。

また後日、保育士部会が被災園を対象に行ったアンケートで、会員の自宅等の被害状況が明らかになり、そこで被災に応じた「全国保育士会被災地支援スカンポ募金」から、職員個人に向けて支援を行ったことが、大変喜ばれました。今後は、子どもと職員の命を守るための防災だけでなく、「減災」も考えながら、有事の際に助け合う「他者貢献力」の広がりも重要だと感じています。それは、大きな災害を経験し、助け合ってきた私たちだからこそできることと思っています。

## 災害派遣福祉チームを中心に コロナ禍でも迅速な対応を実現

コロナ禍で、他県からの人的支援が受けられない中、熊本地震での経験などを生かして迅速な活動ができました。今後は、どんな災害の際にも熊本DWAATとして即座に活動できるように、人材育成や活動費の確保などを進める必要があると感じています。

今回の豪雨災害は、本会の全国組織にあたる全国経営協の基本方針を受け、各都道府県の経営協が、災害時の支援体制構築を進めている矢先の出来事でした。7月4日の発災直後から現地の状況把握を進め、翌日には支援物資の収集拠点を決定しました。さらに、7日には本会災害派遣福祉チーム（以下、熊本DWAAT）の先遣隊を県南地域に派遣し、2日間にかけて人吉、芦北、八代の被害状況や現地ニーズの把握に努めました。その後、7月10日から、全国経営協などからの支援物資の配送、県南地域2カ所への福祉避難所開設、熊本DWAATチームの派遣などを矢継ぎ早に行いました。

最終的に、10月31日までの間に本会加盟法人の41法人から125人を熊本DWAATとして福祉避難所へ派遣しました。

### 熊本県社会福祉法人経営者協議会



熊本県  
社会福祉法人経営者協議会  
会長 小笠原嘉祐 さん

今回の豪雨災害は、本会の全国組織にあたる全国経営協の基本方針を受け、各都道府県の経営協が、災害時の支援体制構築を進めている矢先の出来事でした。7月4日の発災直後から現地の状況把握を進め、翌日には支援物資の収集拠点を決定しました。さらに、7日には本会災害派遣福祉チーム（以下、熊本DWAAT）の先遣隊を県南地域に派遣し、2日間にかけて人吉、芦北、八代の被害状況や現地ニーズの把握に努めました。その後、7月10日から、全国経営協などからの支援物資の配送、県南地域2カ所への福祉避難所開設、熊本DWAATチームの派遣などを矢継ぎ早に行いました。

## 熊本地震の教訓生かした迅速な対応 協議会の垣根を超えた協力も

今回は熊本地震の教訓を生かし、スピード感を持った対応ができました。また、協議会の種別を超えた協力もできたことも成果の一つです。ただ近年、自然災害の規模や頻度が増しているため、県内だけでなく、九州まで広げた施設間のつながりを作っておく必要があると痛感しました。

当協議会加盟22施設のうち、県南地域には4施設がありますが、幸い大規模な浸水や人的な被害はありませんでした。ただ、障害者の皆さんは精神的にデリケートな方も多く、避難などの際には細やかな対応が必要。そうした中でも、各施設の職員は士気高く行動していたそうです。

協議会では、被災地の施設で飲料水やウェットティッシュ、消毒液などが不足しているとの情報を得て、支援物資として届けました。また、被災地域の7施設にそれぞれ5〜10万円の見舞金を支給。さらに、今回は施設への被害こそ軽微だったものの、職員の中には自宅が被災した方もいたため、九州身障協に災害見舞金制度の創設を依頼し、対象者への支給を行いました。

### 熊本県身体障害児者施設協議会



熊本県  
身体障害児者施設協議会  
会長 三浦貴子 さん

協議会では、被災地の施設で飲料水やウェットティッシュ、消毒液などが不足しているとの情報を得て、支援物資として届けました。また、被災地域の7施設にそれぞれ5〜10万円の見舞金を支給。さらに、今回は施設への被害こそ軽微だったものの、職員の中には自宅が被災した方もいたため、九州身障協に災害見舞金制度の創設を依頼し、対象者への支給を行いました。

## 情報収集や支援指示を系統化。 迅速な支援と災害に強い施設を目指す

こうした体制は熊本地震以前からありましたが、災害対応を強化するために、地震後に立ち上げた災害対策特別委員会でBCP（事業継続計画）を作成し、災害発生時にどう事業を継続していくかを共有できました。今後は、それぞれの施設で「災害に強い施設づくり」を目指していきたいと思っています。

ただ、1施設だけでは対応にも限界があるため、本会も登録しているDCAAT（災害派遣福祉チーム）やDMAT（災害派遣医療チーム）といった県・全国組織との連携を図りながら、災害時には施設利用者だけに限らず、在宅で過ごす方々へも支援が行き届くよう、より強固なネットワークを構築していきます。

### 熊本県知的障がい者施設協会



熊本県  
知的障がい者施設協会  
会長 武元典雅 さん

本会では、県内を6ブロック（地区）に分けており、今回の豪雨災害への対応は人吉・球磨、芦北地方を含む城南地区の理事を中心に行いました。八代にあるブロック長の施設を中心に、被災施設の被害状況や支援ニーズを把握。被害の大きかった施設へはすぐに支援に入り、被害のなかった施設で弁当を作って1日3食配給するなど、災害対応の体制は整っていたと思います。

# 被災事業所職員の再就職支援

今回の豪雨災害で甚大な浸水被害を受け、多くの入所者が犠牲となった球磨村の特別養護老人ホーム「千寿園」。当時約90名近い職員が在籍していましたが、施設再開のめどが立たない状況の中、県高齢者支援課からの要請を受けて行った職員の求職支援の取り組みを紹介します。

## 熊本県社協 福祉人材・研修センター

求職希望者の思いや

ニーズに寄り添うことを第一に

最適な就職先へ向けた伴走支援

当センターでは、福祉の職場への求職と事業所からの求人とをマッチングする無料職業紹介事業などを行なっています。昨年7月の豪雨災害後まもなく、県高齢者支援課から千寿園を離職した職員の再就職支援依頼を受け、すぐに人吉・球磨・八代・芦北・水俣5地域の福祉事業所へ職員採用の協力を呼び掛けました。その結果、多くの事業所から手が挙がり、介護職だけで30を超える施設から約70名分の求人がありました。

8月4・5日に、人吉市で出張相談会を開催。千寿園を離職した約70名のうち50名近くが参加しました。同園は、長期勤続の職員が多かったほか、発災当時、夜勤で利用者の避難誘導にあたった方もおり、まずは、被災と離職という辛い気持ちに対し、しっかりと寄り添って相談を受けました。「自宅や車が流されて通勤が難しい」「千寿園と」同じような環境で働きたい」など、それぞれの事情や希望に耳を傾け、足並みを揃えながら求

職支援を続けた結果、昨年11月末日時点で約20名の再就職が内定しました。

すぐに対応できる  
心強い地域のネットワーク

当センターからの要請以外でも、人吉市福祉支援課は、同市内の居宅支援事業所へ一斉メールで求人要請を出したり、職員採用協力の要請を知った熊本市近郊の事業所から直接連絡をもらったりしました。こうした福祉関係者のネットワークの強さに、心から感謝しています。

今回、特に被害の大きかった人吉・球磨地域の再就職希望者の生活再建に向けて頑張られる姿を通じ、当センターも支援を求めている方々に対し、よりきめ細やかな支援を行わなければと改めて実感しました。今後も福祉の職場への就職を希望する方々に寄り添いながら、求人とのマッチング、福祉の仕事の魅力発信に努めていきます。



福祉人材・研修センター  
キャリア支援専門員 本田祐子さん

## 家庭常備薬の斡旋をご利用ください。

### 事業内容

すべては「健康」のために・・・  
私たちは誠意と熱意で応えます。

医薬品、防疫薬、医薬部外品、  
化粧品、健康食品、健康関連用品 各種記念品の取り扱い。



お客さまのニーズにあった商品を豊富に取り揃えております。

大日商事株式会社

TEL (06)6952-7015

FAX (06)6952-7137 大阪市旭区大宮4丁目18番18号



# 生活福祉資金(緊急小口資金)特例貸付

大規模な震災や豪雨被害などで、国が定めた災害救助法が出された地域には、被災した世帯に対する一時的な生活費を貸付ける「生活福祉資金(緊急小口資金)特例貸付」が適用されます。「令和2年7月豪雨」で、県内26市町村が適用となった特例貸付の内容を紹介します。

当面の生活費はもちろん  
暮らし再建へのきっかけに

熊本県社協 福祉資金課



福祉資金課  
首席審議員 加藤貴一郎さん

熊本県では、2016年の熊本地震以来の適用となった、災害時特例の生活福祉資金貸付。被災状況を示す罹災証明書等の必要書類があれば、一世帯につき1回限り、原則10万円以内(ただし、条件によっては20万円以内)が貸し出され、貸し付けの日から1年以内は据え置き、償還期限は据え置き期間終了後2年以内で無利子です。昨年7月31日に災害時特例貸付の文書が国から通知され、すぐに人吉・球磨周辺など、災害救助法適用地域の社会福祉協議会を通じて周知を図りました。特に被害が甚大だった人吉・球磨では、地元の人吉新聞に掲載し、必要な方に情報が届くようにしました。本会でも、人吉・球磨・芦北の窓口へ職員を派遣し、希望者の相談に対応。昨年11月末日時点で、貸し付け件数は県内26市町村で約55件です。希望者との相談時には、現在の状況や今後の生活についてなど、丁寧にヒアリングを実施。その際、必要に応じて生活自立支援センターの相談員と連携し、家計支援や就職支援へつなげることも。当面の生活資金だけでなく、復興後の生活支援までサポートすることも社協の務めです。

令和2年度  
社会福祉施設  
総合損害補償

## しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の  
**事故・紛争円満解決のために!**

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

### プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

#### 基本補償(賠償・見舞)

保険期間1年

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

▶ 年額保険料(掛金)		基本補償(A型)
定員	1~50名	35,000~61,460円
	51~100名	68,270~97,000円
	100名以降1名~10名増ごと	1,500円

基本補償(A型) 保険料 + 【見舞費用加算】  
 定員1名あたり  
 入所: 1,300円  
 通所: 1,390円



スケールメリットを活かした  
**充実した補償と  
 割安な保険料**  
 です。

- プラン2 施設利用者の補償
- プラン3 施設職員の補償
- プラン4 社会福祉法人役員等の補償

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**  
 (引受幹事) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
 保険会社 TEL: 03(3349)5137  
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)  
 損保ジャパン日本興亜は、関係各所の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**  
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763  
 受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

## 県社協への寄附御礼

このたびの令和2年7月豪雨災害においては、被災者への義援金や災害ボランティア活動の支援金、支援物資・資機材等のご提供など、多大なるご支援をいただきました。ここに深く感謝申し上げます。

受付〈令和2年7月4日～令和2年12月31日〉※順不同（個人以外を掲載）

- ◆(医)大仲会 大仲さつき病院 様
- ◆(一社)熊本県庁友会 様
- ◆(一社)熊本県労働者福祉協議会 様
- ◆(一社)全国民間社会福祉事業者共済連絡協議会 様
- ◆(一社)日本電子機器補修協会 様
- ◆(一財)日本気象協会 様
- ◆(株)Human Investment 様
- ◆(株)アイスジャパン 様
- ◆(株)あらた 様
- ◆(株)大塚製薬工場熊本支店 様
- ◆(株)グランド・ママ奈良 従業員御一同 様
- ◆(株)さんはる 様
- ◆(株)スズキ自販熊本 様
- ◆(株)鈴木スプリング製作所 様
- ◆(株)建吉組 様
- ◆(株)ノダキ 様
- ◆(株)肥後銀行 様
- ◆(株)フォーユー レントオール熊本 様
- ◆(株)ホンダ四輪販売南九州 様
- ◆(株)モーターンフロイデ 様
- ◆(株)南九州マツダ 様
- ◆(株)緑寿 様
- ◆(公財)風に立つライオン基金 様
- ◆(公財)大和証券福祉財団 様
- ◆(公社)OMOYARIプロジェクト 様
- ◆(公社)リース事業協会 様
- ◆(大)弘前大学 様
- ◆(特非)ありがた屋 様
- ◆(特非)たまごの会 様
- ◆(特非)レスキューストックヤード 様
- ◆(特非)東日本ネットワーク 手にぎり隊 様
- ◆(福)岡山県社会福祉協議会 様
- ◆(福)鹿児島県社会福祉協議会 様
- ◆(福)笠岡市社会福祉協議会 様
- ◆(福)国東市社会福祉協議会 様
- ◆(福)甲佐町社会福祉協議会 様
- ◆(福)静岡県社会福祉協議会 様
- ◆(福)セイワ 様
- ◆(福)総社市社会福祉協議会 様
- ◆(福)千葉県社会福祉協議会 様
- ◆(福)千葉県社協職員連絡協議会 様
- ◆(福)十百千会 ゆきその学園 様
- ◆(福)長岡市社会福祉協議会 様
- ◆(福)新潟県社会福祉協議会 様
- ◆(福)兵庫県社会福祉協議会 様
- ◆(福)広島県社会福祉協議会 様
- ◆(福)福寿園 様
- ◆(福)平成苑 様
- ◆(福)宮城県社会福祉協議会 様
- ◆(福)山都町社会福祉協議会 様
- ◆(有)鈴木造園 様
- ◆IAYSP徳島 様
- ◆KDDI(株)九州総支社 様
- ◆味の素(株)栄養加工食品事業部 様
- ◆味の素AGF(株) 様
- ◆宇土市民生委員児童委員協議会 様
- ◆愛媛県立内子高等学校小田分校 家庭クラブ 様
- ◆エム・ビー・エス(株) 様
- ◆鹿児島県立伊佐農林高等学校 様
- ◆鹿児島県市町村社会福祉協議会連絡協議会 様
- ◆唐津商業高等学校 ボランティア同好会 定時制生徒御一同 様
- ◆キャノン(株) 様
- ◆熊本県自動車販売店協会 様
- ◆熊本県民主医療機関連合会 様
- ◆熊本トヨタ自動車(株) 様
- ◆熊本トヨタベツト(株) 様
- ◆熊本日産自動車(株) 様
- ◆クラーチ ファミリア佐倉 様
- ◆コープこうべ災害緊急支援基金(ハート基金)運営委員会 様
- ◆コカ・コーラボトラーズジャパン(株)九州地区統括本部 様
- ◆坂本整骨院 様
- ◆すごろくデイサービス 御利用者 様
- ◆鈴木化成品(株) 様
- ◆生活協同組合くまもと 様
- ◆全日本ムスリム協会 様
- ◆第一三共(株) 様
- ◆大日商事(株) 様
- ◆大鵬薬品工業(株)コンシューマーヘルスケア西日本支店 様
- ◆太陽美容室 様
- ◆東京都麺業連合共同組合 様
- ◆特別養護老人ホームいこいの里 様
- ◆栃木県立黒磯高等学校 様
- ◆長崎玉成高等学校 医療福祉科生徒御一同 様
- ◆日産プリンス熊本販売(株) 様
- ◆ネスレ日本(株) 様
- ◆パナソニック(株) 様
- ◆羽村ダンススクール 社交ダンス有志御一同 様
- ◆久光製薬(株) 様
- ◆福山市赤十字奉仕団 様
- ◆北陸学園 北陸高等学校 様
- ◆マイリグ(株) 様
- ◆三菱電機エンジニアリングユニオン 様
- ◆山發日本(株) 様
- ◆ユナイテッドトヨタ熊本(株) 様
- ◆ロイヤルホールディングス(株) 様

第一興商は DK エルダースystemで 福祉・高齢者の「介護予防」をサポートします。

生活総合機能改善機器

**DK ELDER SYSTEM**  
**FREEDAM HD**

懐かしの映像や歌に体操や踊りをあわせて、  
「音楽」「体操」「映像」の3つのプログラムで健康をサポート！

音楽  
を使う

体  
を使う

目  
で観る

DK エルダースystemは、音楽療法や医学、体育学などの研究機関や  
さまざまな専門家の協力により開発運営されています。  
また、東北福祉大学との共同研究の調査結果では、施設における  
DK エルダースystemの導入が介護予防に効果的であると報告されました。



DK ELDER SYSTEM ホームページ  
<http://dk-eldersystem.com/>

**無料体験実施中！** 2週間お貸しします

エルダースystemを使って音楽レクリエーションを  
お手伝いします。

お気軽にお電話下さい ☎096-377-5770

お問合せ/株式会社第一興商 熊本支店  
熊本県熊本市南区田迎2丁目15-27

全国200万人加入!! 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

# ボランティア活動保険



## 保険金額・年間保険料 (1名あたり)

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		×	○	
年間保険料			350円	500円	

商品パンフレットは  
こちら



(ふくしの保険  
ホームページ)

団体割引 20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

### <基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

## ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

## 送迎サービス補償 (傷害保険)

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

## 福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

損保ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

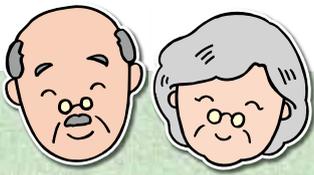
取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763

営業時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。



# 県社協の事業案内



## ソウェルクラブ

(福利厚生センター) **ご加入のおすすめ**

### 新規会員 募集中!

会員数 約270,000人/

#### 職員の健康管理のために

- 生活習慣病予防健診費用助成
- 健康生活用品付与
- スポーツクラブ ●電話健康相談

#### 職員の余暇活用のために

- 指定保養所…休暇村、KKR、グリーンピア、ダイワロイヤルホテルズ
- 会員制リゾート施設…ラフォーレ倶楽部 セラヴィリゾート泉郷
- クラブ・サークル活動助成
- テーマパーク ●国内・海外旅行
- レンタカー ●カルチャースクール等

#### 職員の生活サポートのために

- 住宅ローン ●特別資金ローン
- ソウェル団体生命保険・傷害保険
- 小売店、引越サービス、文具・消耗品、書籍等

#### 職員の慶事のお祝い

- 結婚お祝品贈呈 ●出産お祝品贈呈
- 入学お祝品贈呈
- 永年勤続記念品贈呈
- 長期勤続者退職慰労記念品贈呈

#### 各種情報提供

- 会員情報誌 ●ホームページ

#### 地域に密着した事業

- 会員交流事業(旅行・観劇・スポーツ大会等)
- 地域開発メニュー

#### 職員の資質向上のために

- 資格取得記念品贈呈 ●接遇講習会
- 広報講習会
- レク・リーダー養成講習会
- メンタルヘルス講習会
- OJTスキルアップ講習会
- ディズニーアカデミー
- コンプライアンス講習
- e-ラーニング
- 〔 Excel, Word, PowerPoint, コンプライアンス, メンタルヘルス 〕

#### 職員の万が一の際に

- 会員の死亡弔慰金
- 会員の配偶者の死亡弔慰金
- 会員の入院・手術見舞金
- 災害見舞金

#### 加入要件

- ・契約対象者…社会福祉事業又は介護保険事業(※)を経営する者
  - ・加入対象事業…社会福祉事業又は介護保険事業(※)
  - ・加入対象者…上記事業に従事する役員全員(非常勤職員含む)
- ※対象事業の詳細についてはお問い合わせください。

#### 掛金

- ・第1種会員(常勤職員向け) …… 毎年度1万円
  - ・第2種会員(非常勤職員向け) …… 毎年度5千円
- ※非常勤職員が第1種に入会することもできます。  
※第2種会員は、利用できるサービスが一部限定されます。

加入申し込み、お問い合わせは、フリーダイヤル

TEL 0120-292-711  
FAX 0120-292-722  
<https://www.sowel.or.jp/>  
社会福祉法人 福利厚生センター  
〒101-0052  
東京都千代田区神田小川町1-3-1  
NBF小川町ビルディング



国内外20万件以上の施設やサービスを会員価格で利用できる

### ソウェルクラブ “クラブオフ”

## 経営相談 をご活用ください

相談は無料です

毎月1回(定例日)、専門の相談員が社会福祉法人や社会福祉施設からの経営相談に応じています。また、緊急な場合は、電話やメールでの迅速な対応も可能です。ぜひご活用ください。

来所相談日 (※予約が必要です)

- 社会保険労務士 第1月曜日 午後1時30分～
- 公認会計士 第2火曜日 午後1時～
- 弁護士 第3火曜日 午後1時30分～

お問い合わせ | 社会福祉法人経営相談室  
TEL. 096-324-5465 (直通)  
FAX. 096-355-5440

## 地域福祉権利擁護事業で、暮らしの安心をお手伝い

ご利用できる方

認知症・知的障がい・精神障がいなどにより、判断能力が低下しておられる方で、日常生活に不安のある方などです。

サービスの主な内容

- 福祉サービスが安心して利用できるようにお手伝いします
- 毎日の暮らしに欠かせないお金の出し入れをお手伝いします。
- 大切な通帳・印かん・証書などを、安全な場所でお預かりします。

利用料

1回1時間あたり900円程度です。(お住まいの市町村によって異なります)

お問い合わせ | 地域福祉権利擁護センター  
TEL. 096-324-5474 (直通)  
※またはお住まいの市町村社会福祉協議会まで

## 福祉専門の無料職業紹介所

福祉の仕事サポートします!

知りたい  
働きたい  
体験したい

介護 や 保育 など

お問い合わせ | 熊本県福祉人材・研修センター  
(熊本県総合福祉センター4階)  
TEL. 096-322-8077 (直通)  
FAX. 096-324-5464

## 福祉サービスに関する苦情など お気軽にご相談ください。

福祉サービスに関する苦情や相談は、事業所内にある苦情受付窓口で受け付けています。しかし、解決できなかったり、直接、言いにくい場合は、「熊本県運営適正化委員会」へお気軽にご相談ください。利用者本人や家族、代理の方でも相談できます。

相談は無料です・秘密は守ります 午前9時～午後5時まで(土・日・祝日は除く)

お問い合わせ | 熊本県運営適正化委員会  
TEL: 096-324-5471 (専用)  
FAX: 096-355-5440

